

作庭家が解説する



庭園の歴史と鑑賞



◆講 師 (有)重森庭園設計研究室代表 重森千青

◆開講日 第1木曜日 13:00~14:30

◆受講料 6カ月(6回)分 18,810円(税込)



ちょっとした決まり事を知るだけで、今まで何気なく見ていた庭園が、より一層深遠な世界となって見えてきます。豊富な写真や図面を例に、様々な庭園の見方から植栽、石組、庭園作家のことなどについて、庭園を見るおもしろさが倍増する観賞のポイントを解説します。 4月から始まる6ヵ月講座です。

2022年4月~9月 カリキュラム 詳細は裏面ご参照ください

第1回	4月7日	全国の名庭を楽しむ(3) 「平城京左京三条二坊宮跡庭園(奈良市)」
第2回	*6月2日	庭園作家のこと「長岡安平」
第3回	*6月30日	四国の名勝庭園のこと(2) 「徳島県阿波国分寺庭園から」
第4回	7月7日	京の名庭(14)「南禅寺本坊庭園」
第5回	8月4日	石組の基礎(9) 「三尊石の組方とその応用例」
第6回	9月1日	庭園の計画・設計・完成まで(2)

※5月5日は休講日のため6月2日に振替授業を行います。6月30日は6月分の授業として行います。

詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

- ※受講料には維持管理費が含まれています。
- ※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。
- ※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。
- ※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
- ※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ 初めてご入会される方は、 別途登録料550円(税込)が必要です。



〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F

00.0120-53-8164
10:00~19:00 (日曜日は17:00まで)

カリキュラム詳細

4/7 全国の名庭を楽しむ(3) 「平城京左京三条二坊宮跡庭園(奈良市)」 発掘によって発見、保存された平城京跡左京三条二坊之宮跡庭園を取りあげます。 平城宮跡東院庭園も奈良時代の庭園として復元されていますが、左京三条二坊之宮 跡庭園は完全に奈良期の庭園として発掘されたままの状態で保存されています。美しい曲水式の庭園であり、また庭園の様々なところにいろいろな工夫が施されています。

6/2 庭園作家のこと「長岡安平」

近代に活躍した長岡安平を取りあげます。東京都内にある公園内に数多く存在している日本庭園がありますが、その多くが長岡の設計によるものとして知られています。それ以外にも秋田城跡千秋公園、岩手県の旧南部邸庭園、東京タワー直下にあるもみじ谷公園から芝公園に至る部分など、数多くの整備事業に設計従事していたことが知られています。そんな長岡安平の魅力を紐解いてみたいと思います。

6/30 四国の名勝庭園のこと(2) 「徳島県阿波国分寺庭園から」 文化庁によって国の宝としての庭園が、毎年名勝庭園として制定されています。シ リーズとして各地の名勝庭園を取り上げてまいりましたが、今回は四国の名勝庭 園を取り上げてお話してまいります。意外なほど力強い庭園が存在し、重森三玲に 多大な影響を与えた庭園が存在している地域でもあります。その魅力的な名勝指 定庭園についてお話してまいります。

7/7 京の名庭(14)「南禅寺本坊庭園」

シリーズで取り上げている京の名庭ですが、今回は南禅寺本坊庭園を取り上げます。 京都の禅宗五山の別格上位寺院になる南禅寺ですが、とてもユニークな庭園が作られ ています。作者は正確に特定はてきませんが、小堀遠州作と言われています。なぜ遠 州作なのか、その庭園と建築との取り合わせ、背後との関係なども含めて、その魅力を 紐解いてみたいと思います。

8/4 石組の基礎(9) 「三尊石の組方とその応用例」

庭園における石組の中で、最も基本的な石組が三石使った組方で、通称「三尊石(さぞんせき)」といいます。基本的な組方は三角形型に組みますが、そうではない応用例がたくさん存在しています。それらの組方の姿、特徴、鑑賞における面白さなど、多角的に解析しながらお話していきたいと思います。

9/1 庭園の計画・設計・完成まで(2)

庭園を作る際には、施主との綿密な打ち合わせを経て、計画、設計、施工の順で庭作りをしていきます。なかなか見ることのできない施工中の写真などを使って、庭園が出来上がっていく詳細な過程をお話したいと思います。今回はまだ最初の段階である「庭作りのための場所の確保と確認 - その場所の状況」からのお話となります。